

希学園 第397回 小6公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第397回公開テスト 小6国語 解説動画(2025年6月8日実施)	https://vimeo.com/1091409729/c04a8abdca

1

a

費用

b

給料

c

矢先

2
イ 3 エ 4 A × B × C ○ 5 涙

6
高校 就職 (完答)
7 イ 8 ウ 9 ⑦ ウ ⑧ イ 10 (記述題)

2

a

明文化

b

強固

c

解体

2
イ・ウ (順不同・完答)
3 A エ B ウ C オ D ア 4 ① イ ② エ (完答)

5
(記述題)
6 共有 (完答)
7 (記述題)

8 「自 こと (完答)
9 X で Y を (完答)
10 5

1

10

眼前の子供部屋の学習机は、大切にしてきた筆筒の扉に使われていた木でできているということ。

(同意可)

2

5

行動制限が緩和されても公共空間で距離を取りつづけたり、違反したわけでない感染者を非難したりといったことが続いた上に、それをおかしいと思っても波風を立てないよう黙っていたこと。

(同意可)

7

異なる世界の切り取り方があること	とをたんに知るだけでなく、人間関係のなかでこそ生活実感をもつ	てその見え方を獲得できるから。
------------------	--------------------------------	-----------------

(同意可)

【配点】	
1	1
10	14
2	21
5	7
その他	
各2点×13	26点
各6点×3	18点
各4点×14	56点

① (砥上裕将「母の筆筒」より) ※出題の都合上、本文の表記を変更した箇所があります。

1 a 「費用」の「費」は画数が多いがバランスが悪くならないよう気をつけて書きたい。b 「給料」は小学生の日常生活には無いものだろうが知っておいてほしいレベルである。c 「矢先」は、何かをしようとするちょうどその時のことを表す言葉。

2 「笑うだけ」というのは、「だから捨ててと言ったのに」に対してそれを実行には移さなかったということである。「苦々しそうに」というのは最後まで読んでいけば背景が語られているので、それをふまえて考えればよい。

3 筆筒を擬人的に扱っていることを深読みする設問。このひと件にある「それでも私が勉強できないのは筆筒のせいだと言い張った」などは「筆筒」のところを親に入れ替えれば、思春期にテンプレートのあてはまる態度と言えよう。内容的には他の設問よりも全体を振り返って考える要素が強いが、設問の順番は基本的に本文に出てきた順になりがちなのが国語の特徴でもあるので、実戦的には手際よく処理しよう。

4 AとBはいわゆる「ら抜き言葉」であり、一般には正しいとはされない言葉づかいである。それぞれ「寝られない」「来られなかった」が正しい。

5 二つ目の空所が「③」を零した「なので、コロケーションとして容易に判断できるかもしれない。一つ目の空所は「しめやかな潤い」とつながる内容で、――線④の直前に「母の涙と同じ色をした空の輝き」という表現がある。

6 「筆筒の良さ」というのは、「大切さ」などの言葉ではなく「良さ」となっていることから、たんに父親と関わるものだというだけでではないと考えられる。続く箇所「山桜の一枚板なんて、そう何度も巡り合わせねえぞ」という社長の発言や「皆、木を愛していた」「空の美しさ」といった表現があることから、木の素材の良さを述べていると思われる。それがわかるようになったきつかけということで、問の方とも合わせて就職先のことを答えとする。

7 「ニヤリ」という表現やその後のやり取りで「私」よりも先にリフォームの際にこの筆筒を生かすことを思いついていたことがわかる。

8 「まずあの木の香りがする」ことで「すべてが分かった」と書かれているのだから、この新居に筆筒が生きているということの意味しているはずである。

9 問8を受けているが、「それぞれ作り替えられていた」とあるので、筆筒そのものというよりはその筆筒が何らかの形で生かされているということが重要なのである。一方、私はずっと狭い家に不満をもつて「だから捨てて」と言っていたのだから、筆筒が形を変えたことによって、筆筒を生かしながら同時に広い生活空間が手に入ったことも意味しているだろう。

10 この場合の「これ」は現場指示的な用法なので「学習机」ないしは「学習机に使われている木」など書きぶりには多少幅があるだろうが、要するに言いたいことは「筆筒が生かされて(次の世代につながって)いく」ということだろう。

② (箕曲在弘『自分のあたりまえを切り崩す文化人類学入門』より)

1 a 「明文化」は、はっきり言葉・文書にしてあること。b 「強固」は「強」の字形に気をつけるとともに、文脈と意味を合わせて考えていけるようにしておこう。c の「解体」はやや比喩的な使い方なので、文脈から判断することが大切であった。

2 アとイとは公的／私的が分かれるのはわかるだろう。「適切さ」が問題になるのは「公的」である。ウがどちらでもいいように見えてしまう場合は、やはり前後の流れを意識してほしい。人間にあってネコにないものが入るのが自然なので、ウも公的を入れるべきであろう。

3 とくに【A】と【B】とはひとまとまりで見えるようになってほしい。説明的な文章に頻出の言い回しで、相手の言い分や想定される反論のもつともらしさを認めつつも、自分の主張したいポイントは後続の逆接のあとで本題に戻す形で述べる論の進め方である。

4 続く箇所に「売買なのか、贈答なのかを区別できる」とあるので、「売買」に関する言葉と「贈答」に関する言葉ができ上がるはずである。お金を払ったらおかしいと思うという内容を受けているので、「売買」ではなく「贈答」だ、という流れになるはずである。

5 「和をもって尊しとなす」は「調和している状態やその帰結を尊いものだと考える」ことであるから、「和をもって極端となす」は「調和している状態やその帰結が極端をもたらす」ということ。「調和」は周囲との協調を図ること。「極端」はこの段落の冒頭から述べられているように、当初の緊急事態宣言が収束していった状況下でも、周囲との関係を慮るあまり、極端な行動に奔ったり、そのような行動に違和感をもっても異議を唱えないことによって極端な状況を是認したりすること。解の方針としては段落を要約するだけなのでしっかり練習してほしい。

6 問いかけに対する答えの箇所なので、通読時から注目してほしい。また、◎の文からもヒントを最大限引き出そう。傍線部を含む段落および後続の二段落分をまとめる問題ととらえてよい。対比をもとにポイントを考えると、「どこか距離をもって眺める程度」ではなく「生活の実感をともなった形」になる、そのことによって「世界の別の見え方を獲得でき」と述べられている。

8 問7の箇所などにも「世界の別の見え方」といった表現はあるが、指定の範囲から外れているし、「具体的に」という指示にも合わない。内容理解の参考にはできるが答えにはならない。そもそも文化とは何かということから始まる文章でもあり、この場合の「新鮮なものの方」というのは「行動パターン」につながる思考や意味づけのパターンであろうから、本文末尾が字数に合った箇所である。

9 同じ段落の続く部分で「自分のものさし＝価値基準」を「自覚していない」↓「しかし」↓「気づく」とあるので、【Y】は「を」が入る。そこから【X】を考えると、「自覚せずに」を「自分の価値基準で判断している」と言い直せる。

10 大きく分けるので、まずは問いかけを中心に話題のまとまりを押さえよう。もう少し細分化するのであれば、対比や例示の箇所も切れる可能性はあるだろうが、今回は大きく二つなので、前半は「文化とは何か(どういうものか)」、後半は「文化を見いだす方法」と考えればよい。